

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 令和4年度通常総会・記念講演会を開催しました

6月9日(木)、会員企業・団体から計87名が出席し、岐阜グランドホテルにて岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム令和4年度通常総会・記念講演会を開催しました。

冒頭、涌井理事長から、「COP26の開催などを契機に、二酸化炭素の吸収源として森林に対する期待は一段と高まっている。一方で、『ウッドショック』や『ウクライナ情勢』などの影響で世界的に木材需給が変動する中、川上から川中、川下の連合体であるコンソーシアムの果たすべき役割は非常に大きく、新たに木材流通などに対する取組みを進めたい」とあいさつをいただきました。

通常総会では、令和3年度の事業実績・収支決算、令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)、役員改選の5つの議案について全て原案通り承認されました。

承認された事業計画に沿って、新型コロナウイルス感染症対策に十分留意しながら共同研究活動や交流活動などを展開してまいりますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

総会に続いて国際連合食糧農業機関特別顧問の三次啓都氏みつぎひろとから「森林とデューデリジェンスの動向」と題して講演をいただきました。ロシア・ウクライナ危機が日本の林業・木材業界へ与える影響や、デューデリジェンスに係る世界の動きなど大変わかりやすく興味深い内容でした。

会場ではハーベスタシミュレーターによる伐採体験などスマート林業の体験、ヤマハ発動機(株)様の産業用無人ヘリコプターによる森林計測サービスの紹介などを行いました。



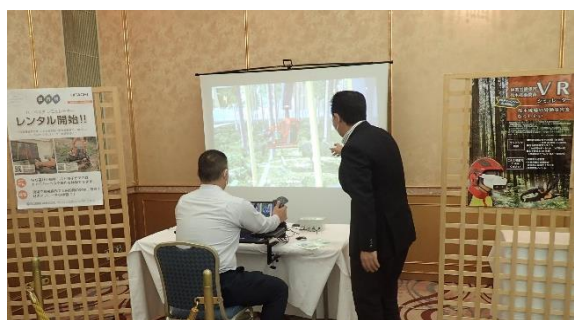
涌井理事長によるあいさつ



三次啓都氏による記念講演



会場の様子



ハーベスタシミュレーターによる伐採体験



ヤマハ発動機(株)様による展示

● 活動報告会を開催しました

通常総会・記念講演会に引き続き、委員会活動の報告会を開催しました。

<主な活動報告>

【新たな森林経営委員会】

林業労働安全対策研修会では、「林業安全教育 360° VR」を活用しベテラン森林技術者の学びなおしに取り組んだところ、林業労働安全に対する意識の改善につながりました。

【森林整備・育成委員会】

「早生樹＋生分解性ツリーシェルター検証PJ」では、早生樹の生育状況やツリーシェルターの施工状況の中間報告がありました。コウヨウザンは、植栽から2年で樹高1.5mにまで成長し、下刈作業の軽減につながることで、徒長成長しているものの樹高が獣害防止資材の高さが1.5mを超えると改善されることなどがわかりました。早生樹は生育途上であることから、継続的に調査してまいります。

【木材生産改善委員会】

林業機械活用検討会では、ICT最適採材機能付ハーベスタを活用し、仕分けの効率化などの検討を行いました。本数ベースで生産性が20%弱向上したものの、曲がりや虫、腐れの有無については、従来通り目視で確認する必要があることがわかりました。

【木材利用拡大委員会】

広葉樹活用検討会では、県産広葉樹20種の枝葉について成分抽出を行った結果、特にホオから採取された精油には、蒸留方法により抗菌性や抗蟻性が期待される成分が含まれていることがわかりました。今後、抗蟻性を持った資材への活用が期待されます。

出席者からは、研修会の再企画、今後の研究結果に期待する声がありました。いただいた意見等を参考にしながら活動を実施してまいります。



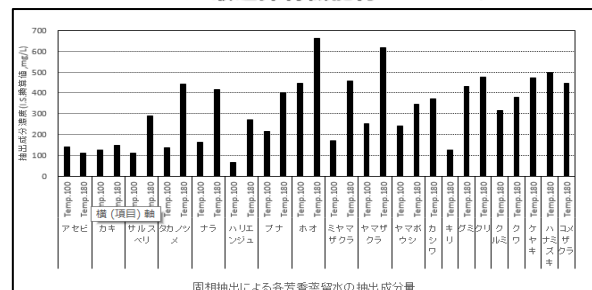
発表の様子



植栽したコウヨウザン



ICT 最適採材機能付ハーベスタ



固相抽出による各芳香蒸留水の抽出成分

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com